

宇佐市教育委員会便り

平成24年7月6日 No.3

宇佐市教育委員会

平成24年度 宇佐市教育行政方針



宇佐市教育委員会

平成24年度宇佐市教育行政方針が完成しました。

4月より策定中であった教育行政方針のリーフレットが6月末に完成しました。平成26年度以降に予定をしています「宇佐市教育振興基本計画」の策定に向けての平成24年度版の方針となっています。今後、方針等の策定に関してご意見等あれば管理課までお待ちしております。

私たちの住む宇佐市は、豊かな自然と歴史・文化遺産に恵まれた歴史と文化のまちです。

子どもたちをはじめ市民が、この恵まれた歴史・文化遺産に誇りを持ち、生涯にわたって生き生きと学び続け、将来にむかって必要とする様々な力を養い、その成果を社会に還元できる生涯学習の充実を図りたいと考えています。

また、多様な価値観や生き方が存在する成熟社会にあっては、子どもたちが豊かな心を持ち、逞しく社会を生き抜く力を育むよう、学校と地域社会が手を携えて安全安心で質の高い教育環境を整え、「地域が学校を作り、学校が地域活性化の拠点となる」ような気風の醸成を目指しています。

宇佐市教育委員会 教育長 近藤 一誠

教育委員研修



5月29日杵築市の住吉浜リゾートパークにおいて大分県市町村教育委員会連合会総会が開催されました。安部教育委員長をはじめ全教育委員が出席しました。

講演：「第2期教育振興基本計画について」
(文部科学省より)

※年内に計画本文を中央教育審議会から答申を受けた上で、今年度中に政府による閣議決定を行う予定。

図書館での教科書展示会



6/15～6/29まで図書館で教科書展示がありました。教育委員が学校教育課長から説明を聞きながら、教科書を閲覧しているところです。

6.29の教育委員会のなかで教科書採択の流れを勉強し、中学校社会科の各出版社間での教科書の記述の違いを確認しました。

H24. 5. 28から安部功子教育委員長が就任し、任期満了で退任された石田菜穂子氏の代わりに新しく松永建比古委員が就任され、新しい構成での初めての教育委員会を6月29日に行いました。

第52回全国大学選抜相撲宇佐大会



第52回全国大学選抜相撲宇佐大会が去る5月3日(日)に宇佐市総合運動場宇佐相撲場で開催されました。

全国より選抜された12大学90選手が参加し、激闘を繰り広げました。団体戦では日本大学が3年ぶり26回目の優勝を果たし、個人戦では東京農業大学3年の正代直也選手が優勝しました。





7月の主な行事予定

日	曜	行 事
1	日	宇佐神宮境内清掃活動
1	日	四日市プール開放開始(8月31日まで)
6	金	教委定例課長会議
8、15、18、22		夏季市民体育大会
8	日	自治区対抗ナイターソフトボール大会開会式
9	月	校長・所長会
11	水	教頭会
14	土	宇佐市青少年健全育成市民会議
19	木	お金の講座「日本と大分の経済について」 日本銀行大分支店長 岩崎 淳氏
20	金	小中学校1学期終業式 図書館
21	土	第1回市民環境歴史教室 講師: 國東利行「宇佐神宮と神仏習合」
22	日	水泳教室開講(8月5日まで)
23	月	定例教育委員会
27	金	フォーラム「人権まちづくり」2012
27~29		宇佐神宮夏越大祭
~7/8		「ふるさとを撮る2012」
7/24 ~		一日図書館員(小学校5年生) 図書館

学校給食ニュース



4月から学校給食の牛乳が、ビンから紙パックになりました。小中学校(カラになった牛乳パック)→リサイクル工場→処理→トイレトペーパーになります!!

宇佐神宮境内弥勒寺跡周辺の清掃写真



宇佐神宮境内弥勒寺跡周辺の清掃活動を行いました!!
7月1日(日)8:00から9:30頃
参加団体: 若宮神輿かつごう会、宇佐の文化財を守る会、宇佐の自然を守る会、水曜会、大分県北部保健所、宇佐文化財愛護少年団、社会教育課文化財係 約100名

佐々木常夫氏WLB(ワークライフバランス)講演会からの抜粋

WLBというのは、日本語で、仕事と生活の調和ということです。これは仕事は定時に終えて自分の生活を充実しようということではありません。WLBというのは、個人も組織ともに成長するという経営戦略です。ですから、その人がそれまでに8時9時まで仕事をやっていったとしたら、定時に帰っても、それと同じかそれ以上の結果を残さなければいけない。WLBというのは、仕事の改革があって初めて改革できるということですね。

私が、課長になったときに部下に「仕事の進め方10カ条」というのを発信しました。毎日のように言い続けました。職場が変わっても言い続けました。38歳で課長になってから、ついこの間社長を辞めるまで、私は同じ話を言い続けました。私は、**良い習慣は、才能を超える**と思っています。少々能力がなくても、良い習慣を持っている人は、毎日、確実に成長して行って能力を抜いていきますね

- 「3年で物事が見えてくる。30歳でたつ。35歳で勝負は決まり。」
私は**成長角度**と言っているのですが、その人の人生観、仕事の進め方、コミュニケーションの取り方、こういったものの成長角度が35歳になると大体決まってきます。この成長角度が、高い人が低い人に抜かれるとは絶対ない。
2番目に「**礼儀正しさにまさる攻撃力はない**」私は部下に礼儀正しさ1本で東レの役員になれると言ってきました。
3番目**ビジネスマンの鉄則「時間厳守」**
4番目「**言葉できちっと話をしなさい。暗黙はダメ。**」
5番目「**読書をしなさい。読書の価値は本の数ではない。**」

タイムマネジメントとは、「最も大事なことは何か」を正しく掘むことです。おそらく、皆さんの時間が3倍になったとしても、3倍の仕事はありませんよ。
どれを選ぶか、何にどれくらいの時間をかけるか。何か一番大事か、決めることです。
タイムマネジメントは時間の管理ではなく、仕事の管理です。

WLBは、いろんな環境の変化から起こったんですけども、まず個人にとっては、**絶対プラス**ですね。定時に帰って自分が好きなことをやりますから、体調がいいですよ。それからいろんな本を読んだり、自己啓発の勉強をしたり、家族とつきあったり。いろんな情報が入ります。仕事にプラスです。それから、私のように6時に帰らなきゃいけない人間は、毎日最短コースで行くには、どうしたらいいのか考えるんですよ。生産性が上がります。毎日最短コースで行くには、どうしたらいいのか毎日考える人と考えないでただダラダラ行く人と夜中まで残業をやっている人間。これ10年やったら勝負になりませんよ。私は、**どっちも必死で追い求めてきました。**私は、**WLM(ワークライフマネジメント)**というふうに言っています。



(株)東レ経営研究所 特別顧問 佐々木 常夫氏

1944年秋田市生まれ。6歳で父を亡くし、4人兄弟の次男として母の手ひとつで育つ。1969年東大経済学部卒業、同年東レ入社。自閉症の長男に続き、年子の次男、年子の長女が誕生。しばしば問題を起こす長男の世話、加えて、肝臓病とうつ病に罹った妻が43回もの入院と3度の自殺未遂を起こす。会社では大阪・東京と6度の転勤、破綻会社の再建やさまざまな事業、改革など多忙を極めそれに対して全力で取り組む生活。2001年、東レ同期トップで取締役となり、2003年より東レ経営研究所社長となる。社外業務としては内閣府の男女共同参画会議議員、大阪大学客員教授などの公職も務める。